

⑧水と緑の関口コース

東京メトロ江戸川橋駅から、神田川に沿って歩く、四季折々の眺めを楽しむコースです。

なぜ江戸川橋なのか？

江戸川公園は、神田川に沿った親水公園です。でも、神田川沿いなのに、なぜ「江戸川公園」なのでしょう？それは、江戸川公園の中ほどから、飯田橋駅まで約2キロの区間を昔は江戸川と呼んでいたからです。1965年（昭和40年）の河川法の改正で、水源から一貫して神田川に改められましたが、近辺では、今も「江戸川」の名前が残っています。



江戸川公園



江戸川橋



東京メトロ江戸川橋駅

多くの被害を出した神田川の洪水

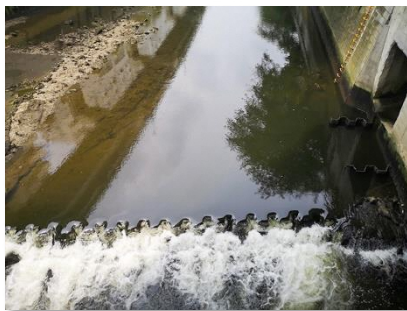
神田川は、たびたび洪水を起こし周囲の人々を悩ませていました。特に1910年（明治43年）の大洪水では、甚大な被害を出しました。これを憂いた大井玄洞（おおいげんどう）氏（区・府議員）は、神田川の治水工事に着手し、1919年（大正8年）に完成させました。そのときに整備されたのが、江戸川公園です。公園の入口には、大井玄洞氏の功績をたたえて胸像が建てられています。

明治43年の大洪水 被害

死者	769人
行方不明者	78人
家屋浸水	185,000戸
家屋全壊	2,121戸
家屋流出	2,796戸



神田川



神田川の流れ



大井玄洞氏 胸像

文京区唯一の見える河川

神田川は、吉祥寺の井の頭の池を水源とし、両国手前の柳橋の下流で隅田川へ注ぐ、全長 24.6 キロメートルの河川です。文京区には、6 つの河川（藍染川、東大下水、小石川、東青柳下水（水窪川）、弦巻川、神田川）が流れていますが、神田川以外はすべて暗渠となっています。神田川は、文京区で唯一の開渠（見える河川）なのです。

暗渠（あんきょ）＝覆いをしたり地下に設けたりして、外から見えない水路。

開渠（かいきょ）＝覆いをしたり地下に設けたりせず、外から見える水路



神田川へ注ぐ暗渠出口



今宮神社前の暗渠の跡



暗渠（あんきょ）の川筋

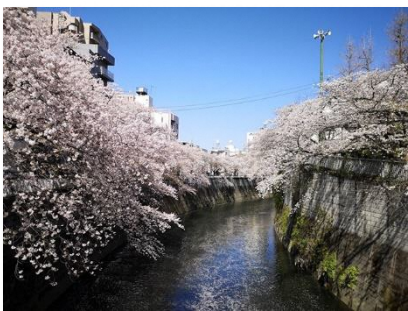
神田川沿いの名所を歩いてみましょう！

神田川周辺は、関口台地の崖線（がいせん）沿いに並ぶ多くの庭園や公園があります。「水と緑の関口コース」は、「水と緑」の地域をガイドといっしょに歩き、春の桜と青葉若葉、秋の紅葉と四季折々の眺めを歩くコースです。次からはコースの主な名所を紹介します。

桜の名所「江戸川公園」

[（文京区関口 2-1）](#)

神田川沿いは桜の名所として知られており、江戸川公園は、桜を求めて多くの人々が訪れます。これは 1900 年（明治 17 年）ごろ、近くの住人が、自宅前の土手に桜を植えたのが始まりです。その後、吉野桜、八重桜などが咲く、桜の名所になりました。



神田川に咲く桜



四阿（あすまや）



すべり台（みんなの広場）

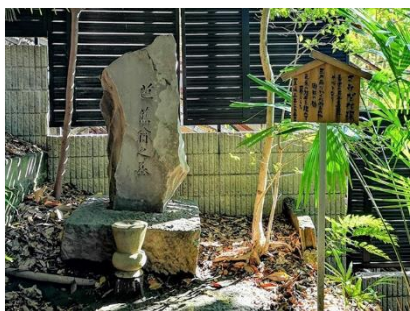
俳聖ゆかりの地「関口芭蕉庵」

([文京区関口 2-11-3](#))

「関口芭蕉庵」は、俳聖・松尾芭蕉が神田川の改修工事に携わったときに住んでいた場所です。庵の中には「芭蕉堂」や、芭蕉の短冊を埋めた墓「さみだれ塚」などがあります。『古池や蛙飛びこむ水の音』の軸を写した「芭蕉の句碑」もあります。



芭蕉堂



さみだれ塚

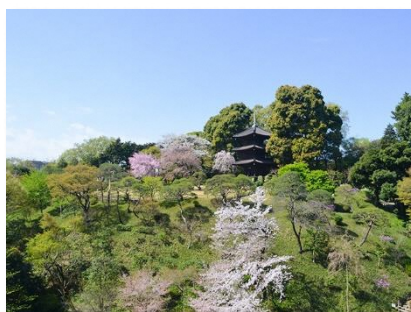


芭蕉の句碑

椿の名園「椿山荘」

([文京区関口 2-10-8](#))

第三代、第九代内閣総理大臣の山県有朋（やまがたありとも）公爵が、1878年（明治11年）に私財を投じて整地した庭園です。大正時代に、藤田平太郎男爵が買い取りました。現在は「ホテル椿山荘東京」として、世界中から多くの人々が訪れています。国登録有形文化財「三重塔」、樹齢500年「御神木」や、伊藤若冲（いとう じゃくちゅう）の「羅漢石」などがあります。



三重塔



御神木



羅漢石

日本の歴史公園 100 選「肥後細川庭園」

([文京区目白台 1-1-22](#))

第79代内閣総理大臣の細川護熙（もりひろ）氏が幼いころ暮らした屋敷です。江戸末期は徳川御三卿清水家の下屋敷で、その後、一橋家下屋敷に転じ、幕末期には肥後熊本藩54万石の屋敷

となりました。今は文京区立の公園となっています。明治期から変わらぬ風情を留める池泉回遊式（ちせんかいゆうしき）の庭園では、春夏秋冬、季節ごとに美しい表情を楽しめます。

◆庭園の四季（花ごよみ）

春 ウメ・サクラ・肥後ツバキ・肥後シャクヤク

夏 肥後ハナショウブ・ボダイジュ

秋 肥後サザンカ・モミジ・ハゼ

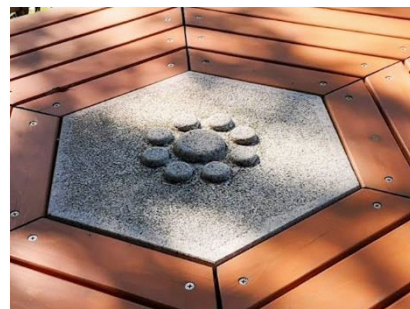
冬 松の雪吊り



池泉式回遊庭園



松聲閣（しょうせいかく）



細川家家紋

水と緑の関口コース

ここで紹介した以外にも、たくさんの魅力的な名所があります。ぜひ、一緒しましょう。

<コース 全行程約 2.5km、約 2 時間 30 分>

集合：江戸川橋際江戸川公園入口 **解散：**東京カテドラル聖マリア大聖堂

おもな見どころ：神田上水取水口・大洗堰、関口芭蕉庵、三重塔（椿山荘）、肥後細川庭園、東京カテドラル聖マリア大聖堂



水神社



永青文庫



東京カテドラル大聖堂

[ガイドツアーのお申し込みはこちら](#)

「構成・文、写真 文京区観光ガイド」